

☆トピックス☆

1. 第15回定例総会および会員交流会を開催

平成29年度定例総会と会員交流会が5月21日、ひたちなか商工会議所で開催されました。市毛代表理事は挨拶で、「各地で災害が起きており、対策が迫られている。ひたちなか市においても、安心安全のまちづくりを掲げており、我々の取組みにも今後取入れていきたい。また、今年度は「産業・人・まちを元氣」に、環境にやさしいまちづくりの視点を加えて、活発な活動を展開していきたい。」と語り、総会では平成28年度の事業と決算報告、平成29年度事業計画がそれぞれ承認されました。その後デザイナーで常磐大学講師の小佐原孝幸氏の講演（裏面参照）があり、交流会で懇親を深めました。（高島）

2. 科学の祭典実行委員会/推進委員会を開催

7月10日、平成29年度青少年のための科学の祭典ひたちなか大会の実行委員会/推進委員会を開催しました。今年は「災害と防災」というテーマで、振動体験車の展示を始めとして、子どもたちに興味を持てる展示を行う予定

で準備を進めていきます。今年度の開催日は平成29年11月4日～5日で、場所はひたちなか市総合体育館2階（メインアリーナ）です。

（四元）



鈴木副委員長の挨拶

3. 夏休み子供向け講座

8月2日から12日にかけて特別講座としてロボットを使ったプログラミング講座を小学3年生以上を対象に5日間実施します。講師はIT相談メンバーが担当します。また、MAPLEメンバーによる夏休みの子供向け（小学生）講座を8月1日から4回ワークプラザ勝田で行います。（小池）（津久浦）

総会での本間市長のご挨拶より



連休中に海浜公園に58万人が来ましたが、8割がまちを素通りしており、観光の面でも課題となっています。道路の混雑に対して公共交通の利用が勧めますが、おかげさまで海浜鉄道の利用も増えている感じで喜んでいます。

現在湊線の海浜公園までの延伸を検討中ですが、せっかく残した湊線を海浜公園や商業施設へ、さらに将来の環状ルートへと利便性を増やしていければと考えています。また、途中で新駅を設置することも検討中で、一つは小中一貫校を建てて鉄道通学してもらおうことを、もう一つは船窪の土地区画整理の場所に駅と駐車場・道の駅などを設置して利便性の向上ができればと考えています。

海浜鉄道延伸の財源をふるさと納税で賄うことを考えています。全国の鉄道ファンや問題意識を持っている人たちが応援してくれるはず。お返しに線路の枕木に名前でも残すようにすれば、ふるさと納税の本質に合うことになり、全国的にも自慢できます。今は返礼品競争になっている面があり、本質から外れているとの批判が高まっています。

茨城県は森林環境湖沼税の名称で環境を守るための県税を集めています。国も同じ目的の新税を考え、総務省を窓口にして市町村税として集める予定でいます。検討会のメンバーに参加していますが、都市部の住民にも理解してもらえらるための理由付けとか事前に検討すべき事項があり、机上の検討だけでの実施は難しいと主張しています。

（文責：高島）

☆定例総会の写真☆



市毛代表理事の挨拶



嶋原さんの監査報告



四元さんの新年度計画発表



新役員の紹介

●「那珂湊地区の新観光案内板」

デザイナー、常磐大学講師  
小佐原 孝幸氏

観光案内板の作成には市にも協力していただきました。華蔵院の「院」の字の中に「猫」が入っていますが、これは民話の中の化け猫からきています。案内板を見たときに、なぜこんな字になっているか疑問を持ってもらえれば、案内板の目的の一つが果たせたといえます。

私はデザイナーとして活動していますが、デザインの役割

の一つは問題解決です。例えばノートのデザインでいえば、立ったまま書けるとか、絵も描けるとかの課題解決のアイデアを入れた結果として、ある外観の形ができます。



小佐原氏

それがデザインです。

私が湊線に関わるようになったのは、第三セクターでの存続が決まったときで、デザインで何ができるかを考えました。そしてできたのが駅名標です。阿字ヶ浦の駅名標には温泉とあんこうを入れました。このような地域デザインは珍しかったので、2015年にグッドデザイン賞を受賞しました。そして中学校の美術の教科書に載り、全国で使用されています。駅名標は湊線の利用者増にもつながりました。駅名標に続いて、地元のお酒のデザインや焼き菓子のデザインも行いました。

観光案内板は市の観光振興課から依頼を受けて作りました。わくわくして写真に撮りたくなるような案内板にして欲しいとの要求があり、次のような4つの工程を経て完成しました。

- ① リサーチ（MMM 実行委員による調査）
- ② デザイン（オリジナルフォントを自作）
- ③ 施行（コスト削減を徹底）
- ④ 運用（街歩きを企画）



駅名標

最後の街歩きを企画するにあたり、全7か所のうち1か所にだけ違うデザインを採用しました。これにより、どこが違うかを探しながら街を歩くことになり、街歩きのレベルが上がります。

現在、那珂湊に次いで「阿字ヶ浦一平磯」の案内板作成のプロジェクトが始まっています。



新案内板

（文責：高島）

●会員交流会のスナップ写真



☆ 会員募集 ☆

なかなかワークでは新規会員を募集しています。

今までの経験や知識を地域の活性化に役立てたいと思っている方。地域で新しい出会いによる新しいビジネスを始めたいと思っている方。なかなかワークの趣旨に賛同し、ご支援いただける方。地域で新しいネットワークをつくりたいと思っている方。ひたちなか市民以外でも参加できます。学生、SOHOの方の入会も歓迎します。

会費は、正会員 年6,000円 準会員・学生会員 年3,000円です。

\*正会員は当団体の運営・活動に参加する方、準会員は当団体からの情報を受ける方です。

お問い合わせ、お申し込みは事務局までお願いします。(Tel.029-264-2488)